



地域医療研究・教育センター
センター長 村上 正巳



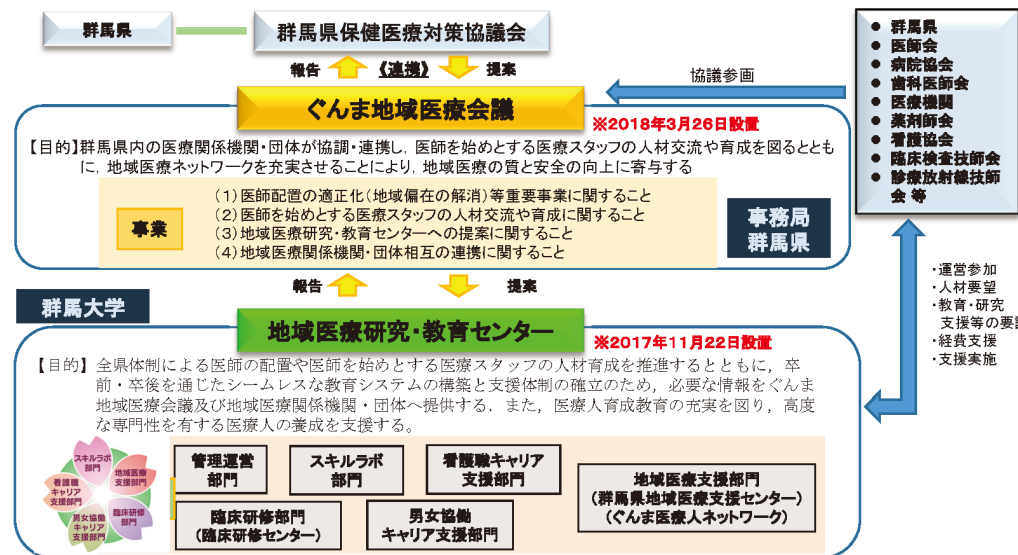
地域医療研究・教育センター
病院講師 奥 裕子

医師適正配置等の推進に向けて

群馬大学医学部附属病院では、群馬県における医師の配置や医師をはじめとする医療スタッフの人材育成を推進し、医療ネットワークの充実を図る目的で、2017年11月22日に「地域医療研究・教育センター」を設置した。地域医療研究・教育センターにおいて群馬県における医療の実態を調査し、その結果に基づいて医師の適正配置等医療スタッフの人材交流や育成に関する問題を群馬県、医師会、病院協会、歯科医師会、医療機関、薬剤師会、看護協会、臨床検査技師会、診療放射線技師会等が参画して協議する「ぐんま地域医療会議」が2018年3月26日に設置された。ぐんま地域医療会議の主な事業は、(1)医師配置の適正化(地域偏在の解消)等重要事業、(2)医師をはじめとする医療スタッフの人材交流や育成、(3)地域医療研究・教育センターへの提案、(4)地域医療関係機関・団体相互の連携等である。

ぐんま地域医療会議において群馬県内の医師勤務等実態調査の内容について協議し、地域医療研究・教育センターにおいて群馬県内の130病院に書面調査依頼を行った。各病院から得られた医師配置の実態や要望に関する回答内容に関して必要に応じてヒアリングを実施し、実態の把握に努めた。また、群馬大学の各診療科に対して派遣可能な医師数について書面調査を行い、群馬県内の病院からの医師派遣要望内容を提供し、必要に応じてヒアリングを実施した。

地域医療研究・教育センターが実施した調査結果に基づき、ぐんま地域医療会議において、群馬県内の10保健医療圏が抱える医師配置に関する課題について意見交換を行った。



2018年12月20日開催のぐんま地域医療会議において、群馬県の医師適正配置方針について協議し、各保健医療圏の課題の中から2019年度に取り組むべき3つの喫緊の課題を決定した。2019年1月30日に2019年度に向けた医師適正配置方針として公表し、群馬大学の診療科の協力を得て、3つの喫緊の課題は改善された。この取り組みは今年度も継続しており、2020年度に向けた医師適正配置方針の作成に向けて、現在準備を進めている。

地域医療研究・教育センター

<https://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

ぐんま医療人ネットワーク

<https://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/gin/>